

新宮山彦ぐるーぷ第1880回  
モノレール駐機小屋第四次(最終)組立工事と  
行仙宿へ修復道具類の荷上げ巡回整備

◇実施日；平成28年06月04日(土) 薄曇後小雨  
◇参加者；児嶋道夫、生熊敏男、川島 功、沖崎吉信、  
畑林秀味。 5名。

日曜日まで晴の予報は、週半ばには雨の予報に変わり、土曜日午後には雨とのことであるが、土曜日に前倒して実施した。朝方に一時雨が降ったが薄曇に回復し、新宮7時前に沖崎宅前に集合し、児嶋車(川島氏同乗)と沖崎車(生熊・畑林氏同乗)で走行し、登山口に8時半頃に到着。

川島は、モノレールを下ろしに駐機地に上る。気温が以前より高くなったのか、一発で始動し登山口に下りる。

波トタン(9尺)5枚及び発電機等の機材と行仙宿へ修復大ハンマー及び缶ビール1箱の荷上げ品を積込み、生熊氏が運転。

その他の人達は、歩いて駐機作業現地へ。小屋組立機材を降ろして、沖崎・畑林氏は行仙宿へ。



サンダー刃で切断



狭い足場上で傘釘打ち



前側に角材を番線

波トタンは、駐機小屋現寸に合う様に仮押さえして、傾きにあわせてマジックで切断線を引く。又、下端の支障となる単管部をトタン切り鋏で切り取り、長さを略220cmに上部の傾きに合わせ、サンダー刃で5枚を重ねて一度に両端を切る。

下端アルミ足場上に立って、最上部の角材に傘釘を打つには、身長の高い川島が打ち易く、確実に角材に止めるため、児嶋氏が波トタンに釘打ち線を引き、その線に沿って傘釘で打ち止める。

5枚目は、トタン長さが僅かに短く、余ったトタンを下部に重ね合わせて、後側トタン張りが10時過ぎに完了した。



後側トタン壁完了



前側トタンを切る検寸



検寸に合わせて切断

後側のトタンを傘釘で打ち止める間に児嶋・生熊氏は、前側にトタンを張る為の、角材を単管支柱パイプに番線

前側の2本の角材間隔に合せて、トタンをサンダー刃で切る。下部角材よりトタンがはみ出ていると当り頭を切る事も想定され、再度トタン下端を角材に沿ってサンダー刃で切断し、前後のトタン壁打ちが11時過ぎに完了する。

支え支柱を固定するためのセメントを練る材料・道具は、児嶋車トラックにあり、モノレールで運搬したいが、行仙宿班がモノレールで上ったまま、未だ下山していない。

先刻、携帯電話が鳴ったので、行仙宿班の沖崎氏に掛けると、通じて下山を促す。しばらくして鉄筋を降ろすように連絡したが



通じず。



角材に沿って切断



支え支柱用鉄筋打込み



11時半前になり、モノレールが下りて来て一緒に昼食にする。モノレールが下りて来て一緒に昼食にする。

行仙宿班は、荷上げ後、管理棟・宿内の食材と食器等の在庫調査を行い、トイレ使用済み箱点検後、No.21鉄塔付近の雑木薪材を調達している最中に携帯電話があり、急ぎ下山したとの事。



パイプにセメント詰



完成した駐機小屋



モノレール小屋に駐機

セメント練り箱、砂・バラスなどをモノレールで上げる。上・下の支え単管パイプを固定するため、単管パイプで無く鉄筋なら打込める可能性があり、その場合セメント練りは不要。

駐機地の横の鉄筋を抜こうとしたが、がっちり打込まれていて

抜けない。沖崎氏が、水場下の棧道で抜けたと鉄筋を調達して来て、ハンマーで打込むとしっかり打ち込めた。鉄筋と単管パイプを番線締めする事になるが、緩む恐れがあると児嶋氏は不承の様である。畑氏より打った鉄筋に沿って単管パイプを打ち込み、鉄筋との隙間にセメントを流し込み固める案が提案され賛同した。モルタル仕様で練り、鉄筋と単管パイプの隙間に流し込み固めた。単管パイプ同士を自在クランプで締結するため、しっかり固定された。

登山口を下りて、モノレール始点横のセメント吹付け岩壁に「保安林作業許可内容表示板」とモノレール設置協力者(榎カマハラテック・新宮信用金庫、上平一郎・山主)表示板」をドリルで岩壁に穴を明け、ビスで固定して表示した。



表示板設置準備



モノレール許可と設置協力者表示板

本日の作業者



モノレール設置に当り、玉岡相談役並びに世話人のご意見を拝聴し、当ぐるーぷ設立趣旨の「体験を通してモノを考える」いわゆる利他的な体験奉仕活動の精神を忘れること無く、会員の高齢化と人海戦術に依る活動に頼れない現状を踏まえて承諾して頂きました。

設置に当り、現地にモノレール備設置の榎カマハラテック様、ボランティア活動資金供与の新宮信用金庫様、山主の上平一郎様に

は、これまでの新宮山彦ぐるーぷの活動を高く評価して頂き、多大なご支援御協力を賜わりモノレール設備が具現化され、衷心より御礼と感謝を申し上げます。

尚、モノレール設置贈呈式(感謝状授与など)を執り行う所存にしています。

喫茶「児嶋車」でコーヒーを煎れて頂き14時に帰路へ。

帰新前の熊野川町あたりから雨が降り出し、作業中に雨が降らなかつたことに感謝である。

帰宅後、近畿・東海地区は、梅雨入りした模様との発表がありました。

### 行動タイム

新宮 6:55→8:25 登山口 8:45→9:05 作業(壁トタン張り)11:15→11:25 昼食12:15→作業(支え支柱固定)13:10→13:20 モノレール始点に標識設置 13:35→登山口 14:00→15:30 新宮。

(記 川島)